

# 平成30年度市町村普通会計決算について(見込み)

## <ポイント>

- 歳入総額 6,880億70百万円 (▲66億 9百万円)
- 歳出総額 6,709億 8百万円 (▲85億74百万円)
- 実質収支 平成24年度以降7年連続で全団体黒字
- 経常収支比率 市町村平均92.7% (+0.7ポイント)
- 健全化判断比率 早期健全化基準以上となる団体は、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率とも該当なし

## I 決算規模

歳入総額は、前年度と比べて66億9百万円(1.0%)減の6,880億70百万円、歳出総額は、前年度と比べて85億74百万円(1.3%)減の6,709億8百万円となった。

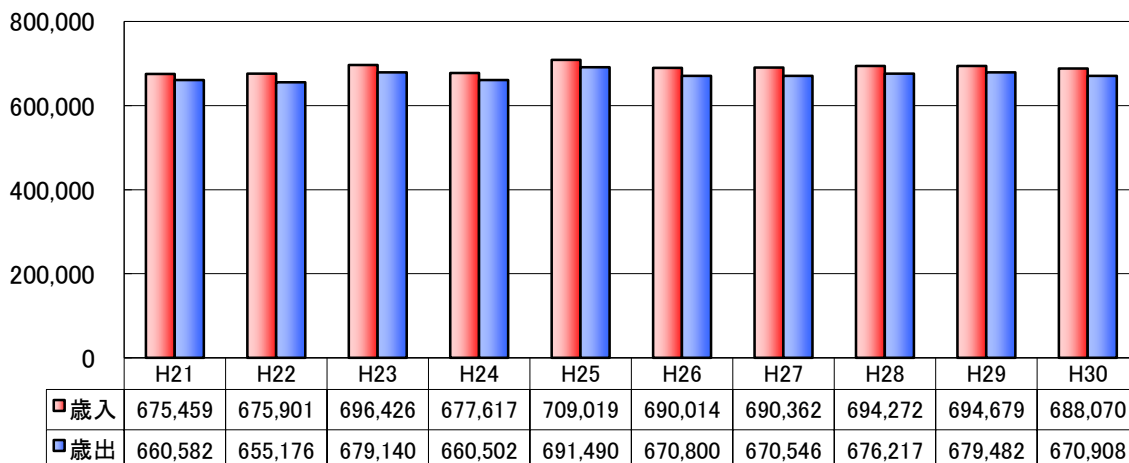
(単位:百万円、%)

| 区 分   |     | 平成30年度  | 平成29年度  | 増減額      | 増減率    |        |
|-------|-----|---------|---------|----------|--------|--------|
|       |     | 決算額     | 決算額     |          | 平成30年度 | 平成29年度 |
| 市 計   | 歳 入 | 486,935 | 496,450 | ▲ 9,515  | ▲ 1.9  | 0.5    |
|       | 歳 出 | 475,795 | 486,280 | ▲ 10,485 | ▲ 2.2  | 0.9    |
| 町 村 計 | 歳 入 | 201,135 | 198,229 | 2,906    | 1.5    | ▲ 1.1  |
|       | 歳 出 | 195,113 | 193,202 | 1,911    | 1.0    | ▲ 0.7  |
| 市町村計  | 歳 入 | 688,070 | 694,679 | ▲ 6,609  | ▲ 1.0  | 0.1    |
|       | 歳 出 | 670,908 | 679,482 | ▲ 8,574  | ▲ 1.3  | 0.5    |

※端数処理等により、計等が一致しない場合がある。(以下同じ)

## <決算規模の推移>

(単位:百万円)



## Ⅱ 決算収支

### ① 形式収支

歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は、前年度より19億66百万円増加し、171億63百万円の黒字となった。

### ② 実質収支

形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を控除した実質収支は、前年度より8億27百万円増加し、132億92百万円の黒字となった。

実質収支比率（実質収支額の標準財政規模に対する割合）は3.6%で、前年度から0.3%の増加となった。

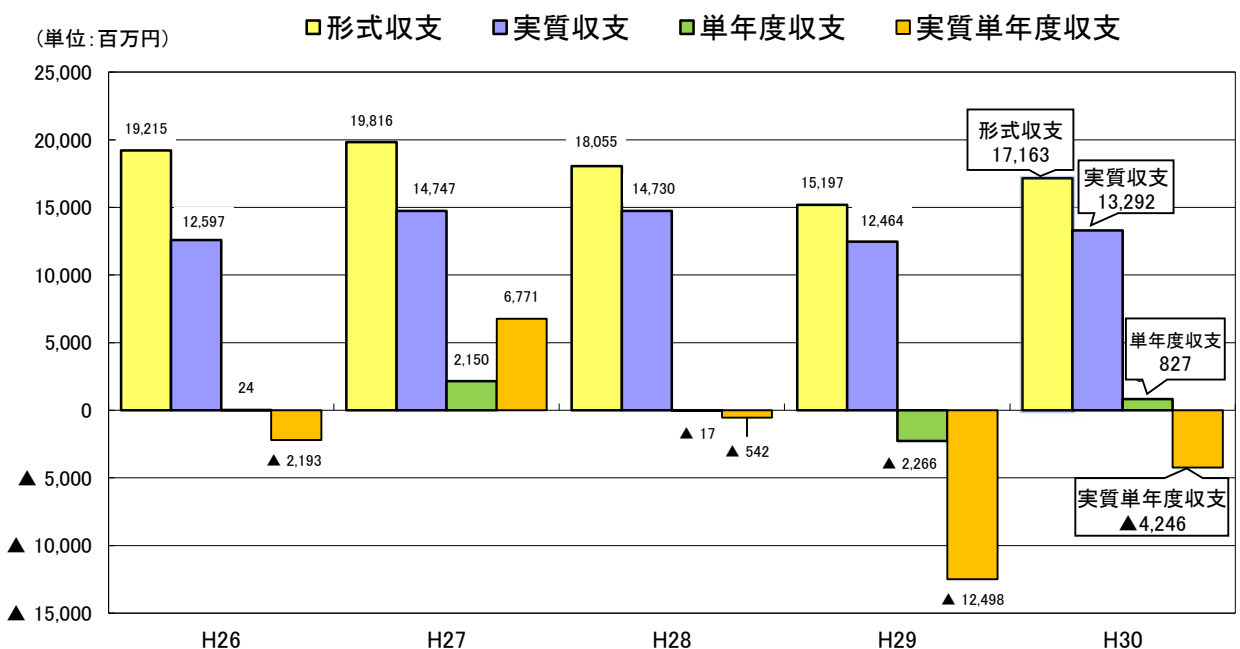
### ③ 単年度収支

当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は、前年度より30億93百万円増加し、8億27百万円の黒字となった。

### ④ 実質単年度収支

単年度収支に、実質的な黒字要素（財政調整基金への積立額及び地方債の繰上償還額）を加え、赤字要素（財政調整基金の取崩し額）を差し引いた実質単年度収支は、前年度より82億52百万円増加し、42億46百万円の赤字となった。

### <決算収支の推移>



### Ⅲ 歳 入

○地方税

平成30年度の固定資産の評価替えに伴う固定資産税の減などにより、対前年度比8億44百万円（0.6%）減の1,514億32百万円となった。

○地方交付税

普通交付税が57億45百万円（3.2%）の減、特別交付税が7億23百万円（3.4%）の増、震災復興特別交付税が4億88百万円（23.7%）の増により、対前年度比45億34百万円（2.2%）減の1,978億99百万円となった。

○地方消費税交付金等

地方消費税の精算基準の見直しなどにより、対前年度比14億円（5.6%）増の265億94百万円となった。

○地方債（臨時財政対策債を除く）

旧合併特例事業債の減などにより、対前年度比22億35百万円（4.5%）減の470億42百万円となった。

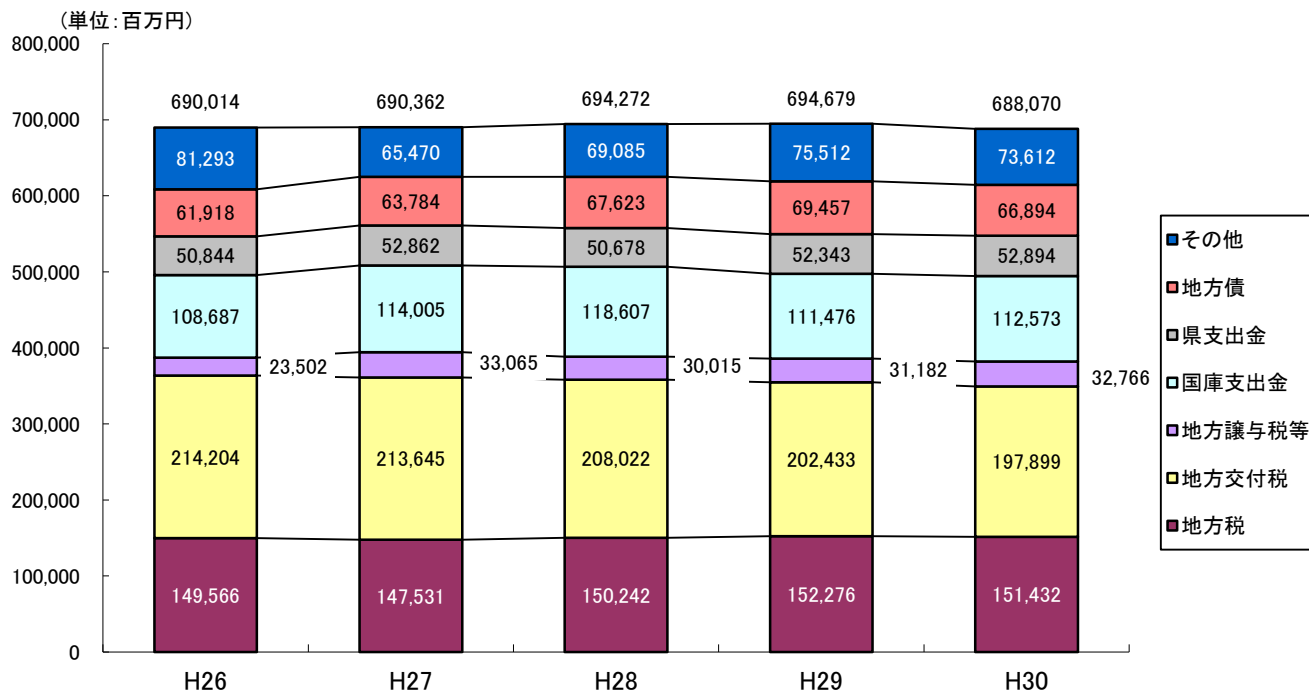
#### <歳入決算額の状況>

（単位：百万円、%）

| 区 分  | 平成30年度             |         | 平成29年度  |         | 対前年度<br>増減額 | 対前年度増減率 |        |       |
|------|--------------------|---------|---------|---------|-------------|---------|--------|-------|
|      | 決算額                | 構成比     | 決算額     | 構成比     |             | 平成30年度  | 平成29年度 |       |
| 一般財源 | 地方税                | 151,432 | 22.0    | 152,276 | 21.9        | ▲ 844   | ▲ 0.6  | 1.4   |
|      | 地方譲与税              | 5,494   | 0.8     | 5,427   | 0.8         | 67      | 1.2    | ▲ 0.2 |
|      | 地方特例交付金            | 678     | 0.1     | 561     | 0.1         | 117     | 20.9   | 13.5  |
|      | 地方交付税              | 197,899 | 28.7    | 202,433 | 29.2        | ▲ 4,534 | ▲ 2.2  | ▲ 2.7 |
|      | 臨時財政対策債            | 19,852  | 2.9     | 20,180  | 2.9         | ▲ 328   | ▲ 1.6  | 5.6   |
|      | 地方消費税交付金等          | 26,594  | 3.9     | 25,194  | 3.6         | 1,400   | 5.6    | 4.6   |
| 小 計  | 401,949            | 58.4    | 406,071 | 58.5    | ▲ 4,122     | ▲ 1.0   | ▲ 0.3  |       |
| 特定財源 | 国庫支出金              | 112,573 | 16.4    | 111,476 | 16.0        | 1,097   | 1.0    | ▲ 6.0 |
|      | 県支出金               | 52,894  | 7.7     | 52,343  | 7.5         | 551     | 1.1    | 3.3   |
|      | 地方債<br>(臨時財政対策債除き) | 47,042  | 6.8     | 49,277  | 7.1         | ▲ 2,235 | ▲ 4.5  | 1.6   |
|      | その他                | 73,612  | 10.7    | 75,512  | 10.9        | ▲ 1,900 | ▲ 2.5  | 9.3   |
|      | 小 計                | 286,121 | 41.6    | 288,608 | 41.5        | ▲ 2,487 | ▲ 0.9  | 0.6   |
| 合 計  | 688,070            | 100.0   | 694,679 | 100.0   | ▲ 6,609     | ▲ 1.0   | 0.1    |       |

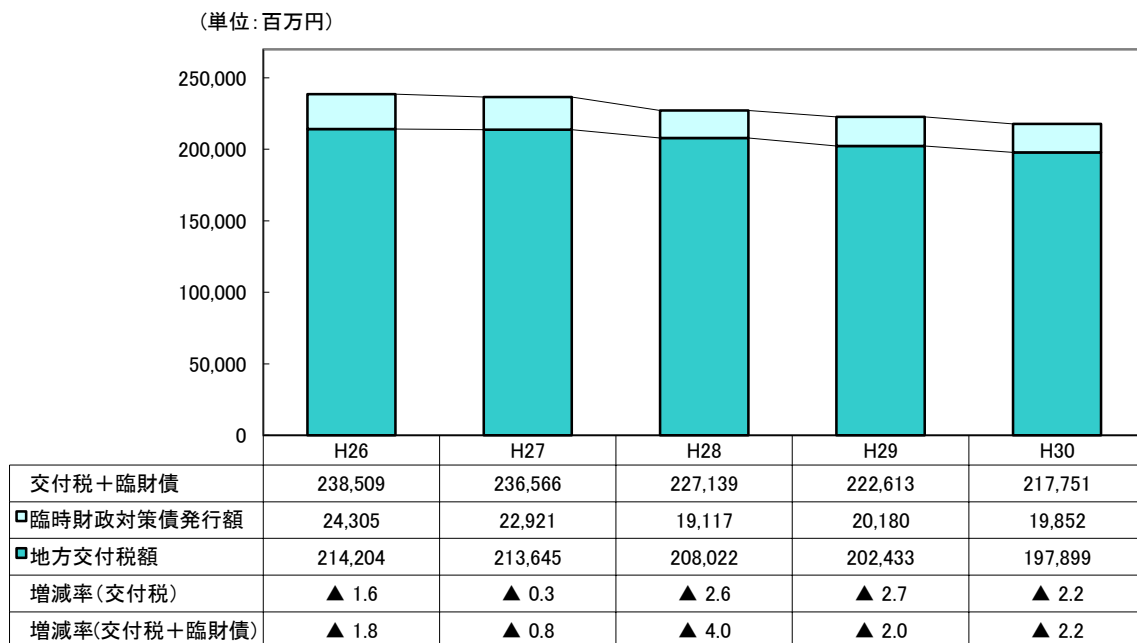
※地方消費税交付金等には地方消費税交付金のほか、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、ゴルフ場利用税交付金及び自動車取得税交付金を含めている。

## <歳入決算額の推移>



※地方譲与税等には地方譲与税のほか、地方特例交付金及び地方消費税交付金等を含めている。

## <地方交付税の推移>



## IV 歳 出

### (1) 目的別歳出

#### ○総務費

一部市町村における本庁舎整備事業の減及びふるさと納税寄附金を財源とした積立金の減などにより、対前年度比102億21百万円（11.4%）減の796億49百万円となった。

#### ○衛生費

一部市町村における一般廃棄物最終処分場建設事業の増などにより、対前年度比11億65百万円（2.1%）増の577億57百万円となった。

#### ○商工費

地方創生拠点整備交付金等を活用した観光物産施設等整備事業の減等により、対前年度比11億61百万円（6.3%）減の171億51百万円となった。

#### ○教育費

小学校建設事業の増などにより、対前年度比34億42百万円（5.0%）増の721億円となった。

#### ○公債費

地方債元利償還金の減などにより、対前年度比22億78百万円（3.0%）減の744億68百万円となった。

### <目的別歳出決算額の状況>

（単位：百万円、%）

| 区 分         | 平成30年度  |       | 平成29年度  |       | 対前年度<br>増減額 | 対前年度増減率 |        |
|-------------|---------|-------|---------|-------|-------------|---------|--------|
|             | 決算額     | 構成比   | 決算額     | 構成比   |             | 平成30年度  | 平成29年度 |
| 総 務 費       | 79,649  | 11.9  | 89,870  | 13.2  | ▲ 10,221    | ▲ 11.4  | 6.3    |
| 民 生 費       | 227,625 | 33.9  | 228,365 | 33.6  | ▲ 740       | ▲ 0.3   | 0.0    |
| 衛 生 費       | 57,757  | 8.6   | 56,592  | 8.3   | 1,165       | 2.1     | 3.0    |
| 農 林 水 産 業 費 | 28,649  | 4.3   | 27,667  | 4.1   | 982         | 3.5     | 0.6    |
| 商 工 費       | 17,151  | 2.6   | 18,312  | 2.7   | ▲ 1,161     | ▲ 6.3   | 11.4   |
| 土 木 費       | 76,248  | 11.3  | 75,582  | 11.1  | 666         | 0.9     | 9.6    |
| 教 育 費       | 72,100  | 10.7  | 68,658  | 10.1  | 3,442       | 5.0     | ▲ 14.7 |
| 公 債 費       | 74,468  | 11.1  | 76,746  | 11.3  | ▲ 2,278     | ▲ 3.0   | ▲ 1.3  |
| その他の経費      | 37,261  | 5.6   | 37,690  | 5.6   | ▲ 429       | ▲ 1.1   | 1.0    |
| 合 計         | 670,908 | 100.0 | 679,482 | 100.0 | ▲ 8,574     | ▲ 1.3   | 0.5    |

## (2) 性質別歳出

### ○義務的経費

対前年度比42億41百万円（1.4%）減の3,034億17百万円となった。

#### ・人件費

退職手当組合負担金の減などにより、対前年度比11億31百万円（1.5%）減の765億91百万円となった。

#### ・公債費

地方債元利償還金の減などにより、対前年度比22億80百万円（3.0%）減の744億66百万円となった。

### ○投資的経費

対前年度比9億44百万円（1.1%）減の883億70百万円となった。

#### ・普通建設事業費

一部市町村における本庁舎整備事業の減などにより、対前年度比2億40百万円（0.3%）減の880億90百万円となった。

### ○その他の経費

対前年度比33億89百万円（1.2%）減の2,791億21百万円となった。

#### ・物件費

電子計算システム関連経費の増及び公共施設解体事業の増などにより、対前年度比20億9百万円（2.5%）増の816億24百万円となった。

#### ・積立金

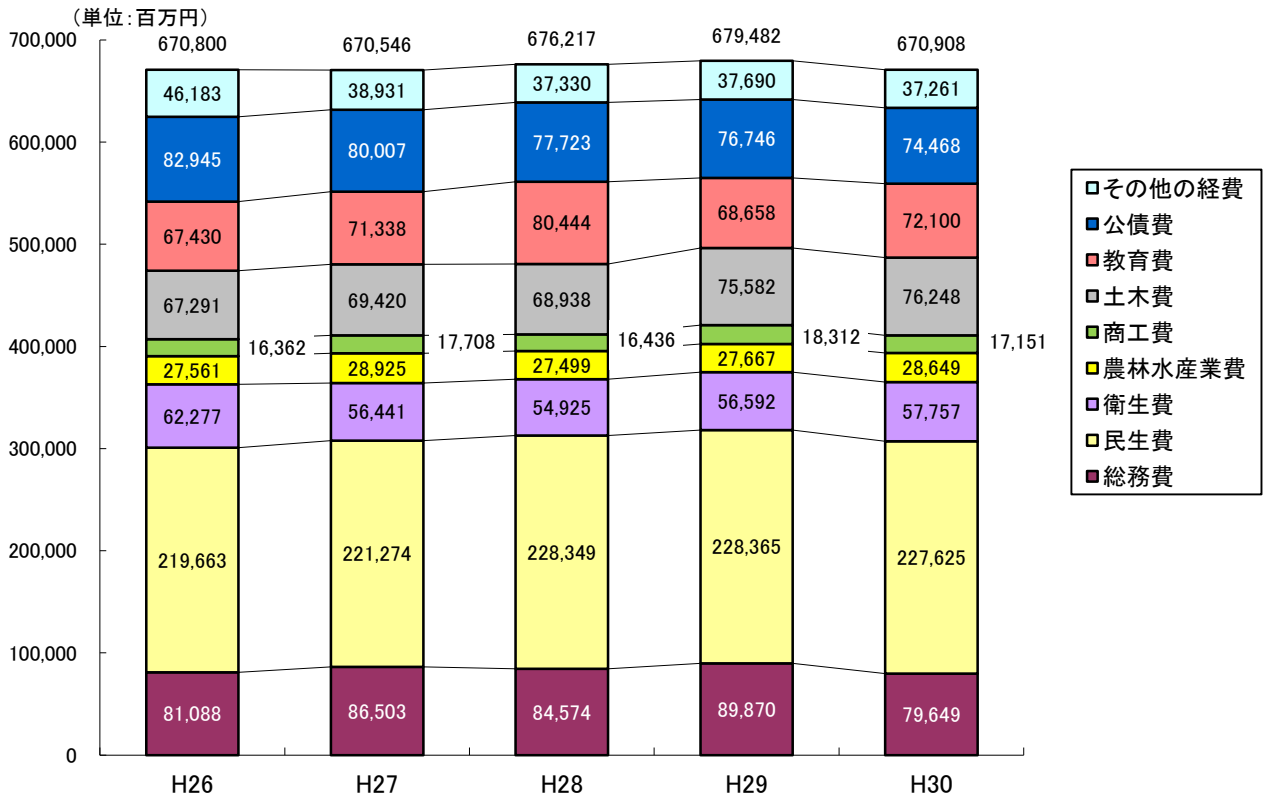
その他特定目的基金への積立金の減などにより、対前年度比62億99百万円（27.5%）減の165億98百万円となった。

## <性質別歳出決算額の状況>

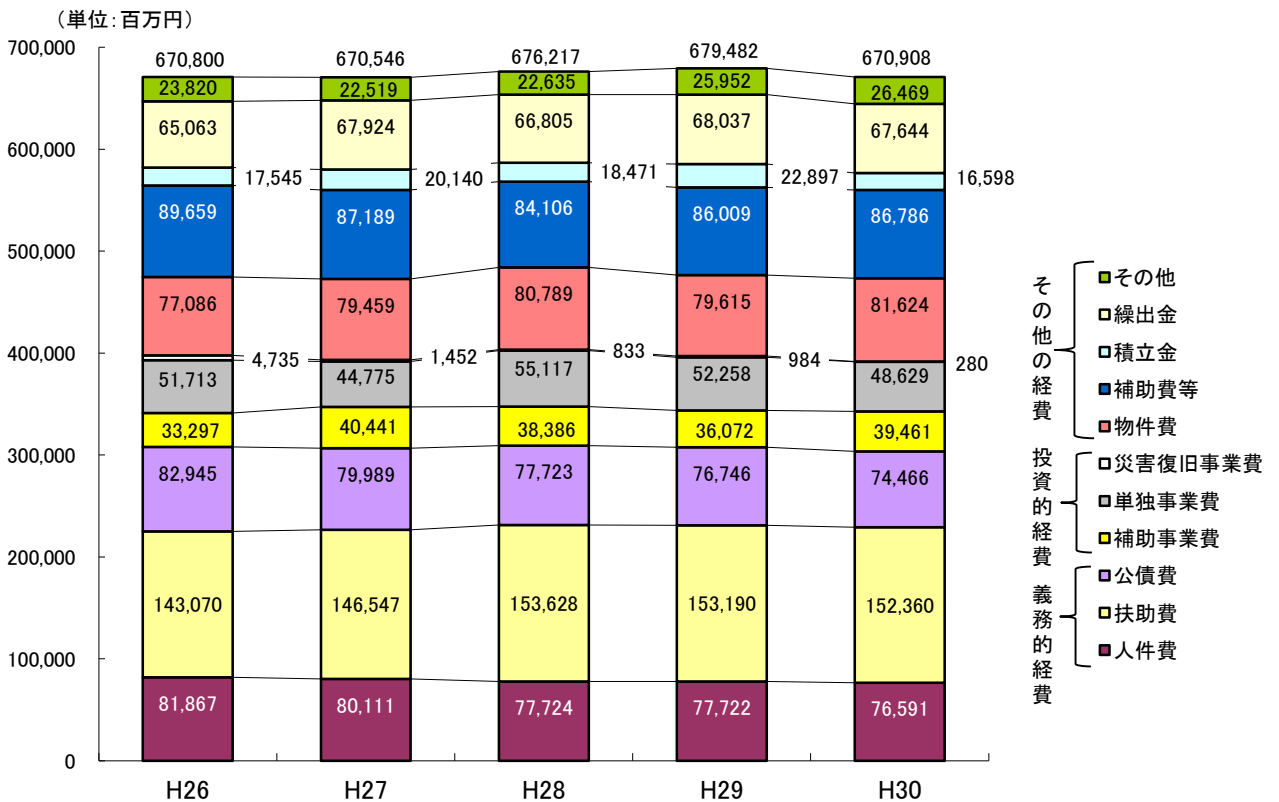
（単位：百万円、%）

| 区 分     | 平成30年度  |       | 平成29年度  |       | 増減額     | 増減率    |        |
|---------|---------|-------|---------|-------|---------|--------|--------|
|         | 決算額     | 構成比   | 決算額     | 構成比   |         | 平成30年度 | 平成29年度 |
| 義務的経費   | 303,417 | 45.2  | 307,658 | 45.3  | ▲ 4,241 | ▲ 1.4  | ▲ 0.5  |
| 人件費     | 76,591  | 11.4  | 77,722  | 11.5  | ▲ 1,131 | ▲ 1.5  | 0.0    |
| 扶助費     | 152,360 | 22.7  | 153,190 | 22.5  | ▲ 830   | ▲ 0.5  | ▲ 0.3  |
| 公債費     | 74,466  | 11.1  | 76,746  | 11.3  | ▲ 2,280 | ▲ 3.0  | ▲ 1.3  |
| 投資的経費   | 88,370  | 13.2  | 89,314  | 13.1  | ▲ 944   | ▲ 1.1  | ▲ 5.3  |
| 普通建設事業費 | 88,090  | 13.1  | 88,330  | 13.0  | ▲ 240   | ▲ 0.3  | ▲ 5.5  |
| 補助事業費   | 39,461  | 5.9   | 36,072  | 5.3   | 3,389   | 9.4    | ▲ 6.0  |
| 単独事業費   | 48,629  | 7.2   | 52,258  | 7.7   | ▲ 3,629 | ▲ 6.9  | ▲ 5.2  |
| 災害復旧事業費 | 280     | 0.1   | 984     | 0.1   | ▲ 704   | ▲ 71.5 | 18.1   |
| その他の経費  | 279,121 | 41.6  | 282,510 | 41.6  | ▲ 3,389 | ▲ 1.2  | 3.6    |
| 物件費     | 81,624  | 12.2  | 79,615  | 11.7  | 2,009   | 2.5    | ▲ 1.5  |
| 補助費等    | 86,786  | 12.9  | 86,009  | 12.7  | 777     | 0.9    | 2.3    |
| 積立金     | 16,598  | 2.5   | 22,897  | 3.4   | ▲ 6,299 | ▲ 27.5 | 24.0   |
| 繰出金     | 67,644  | 10.1  | 68,037  | 10.0  | ▲ 393   | ▲ 0.6  | 1.8    |
| その他     | 26,469  | 3.9   | 25,952  | 3.8   | 517     | 2.0    | 14.7   |
| 合 計     | 670,908 | 100.0 | 679,482 | 100.0 | ▲ 8,574 | ▲ 1.3  | 0.5    |

### <目的別歳出決算額の推移>



### <性質別歳出決算額の推移>



## V 積立金現在高

財政調整基金は、一般財源不足を補うために取崩されたことにより、17億円（2.7%）減の602億48百万円となった。

減債基金は、元利償還金の財源として取崩されたことにより、21億30百万円（7.0%）減の284億80百万円となった。

その他特定目的基金は、公共施設等の整備など将来の歳出増加に備えるための積立などにより、18億62百万円（2.1%）増の891億52百万円となった。

以上の結果、平成30年度末積立金現在高は、対前年度比19億68百万円（1.1%）減の1,778億80百万円となった。

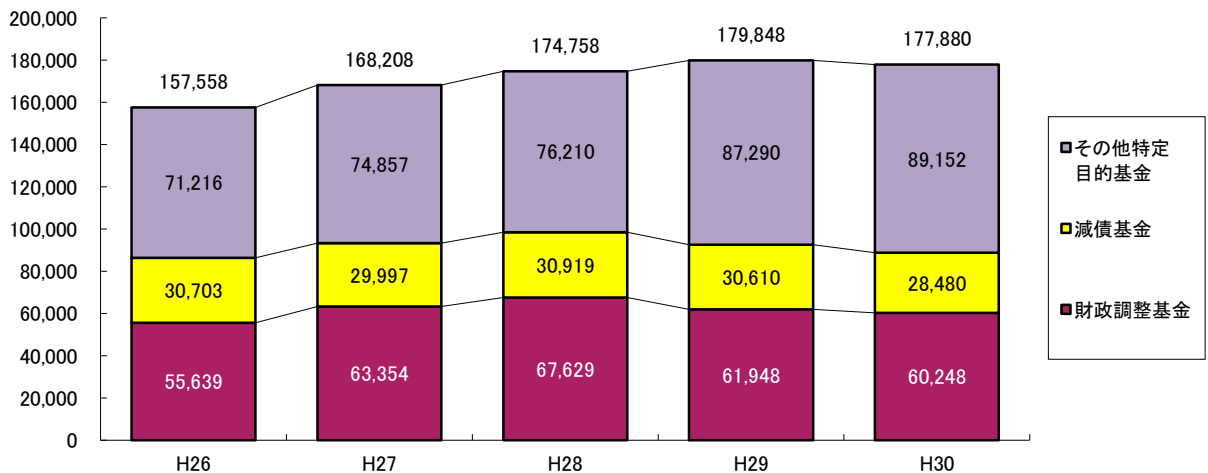
### <積立金現在高の状況>

（単位：百万円、%）

| 区 分         | 平成30年度  | 平成29年度  | 増減額     | 増減率   |
|-------------|---------|---------|---------|-------|
| 財 政 調 整 基 金 | 60,248  | 61,948  | ▲ 1,700 | ▲ 2.7 |
| 減 債 基 金     | 28,480  | 30,610  | ▲ 2,130 | ▲ 7.0 |
| その他特定目的基金   | 89,152  | 87,290  | 1,862   | 2.1   |
| 合 計         | 177,880 | 179,848 | ▲ 1,968 | ▲ 1.1 |

### <積立金現在高の推移>

（単位：百万円）





## VI 地方債

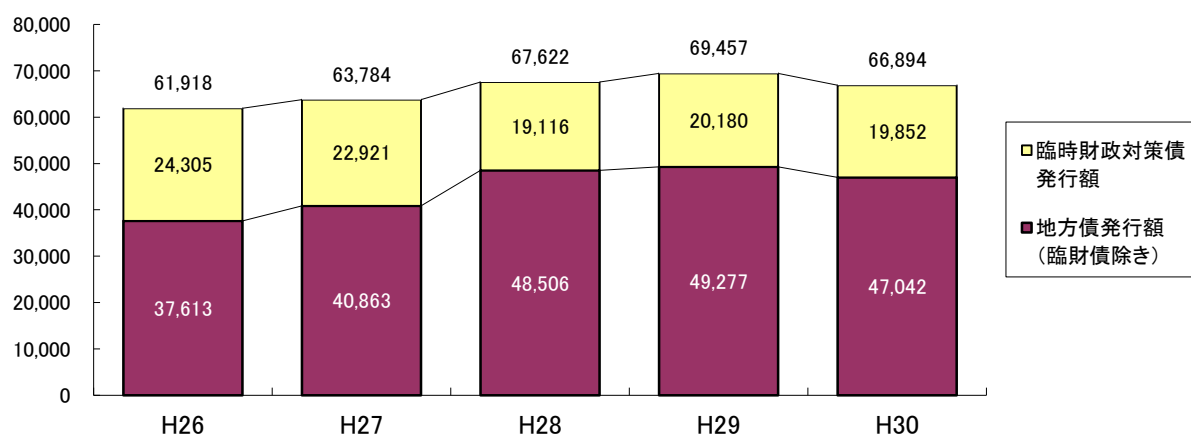
地方債発行額は、対前年度比25億63百万円（3.7%）減の668億94百万円となった。

うち臨時財政対策債発行額は、対前年度比3億28百万円（1.6%）減の198億52百万円、臨時財政対策債を除いた地方債発行額は、対前年度比22億35百万円（4.5%）減の470億42百万円となった。

平成30年度末地方債現在高は、対前年度比26億73百万円（0.4%）減の7,325億32百万円、臨時財政対策債を除いた地方債現在高は、対前年度比40億21百万円（0.8%）減の4,780億37百万円となった。

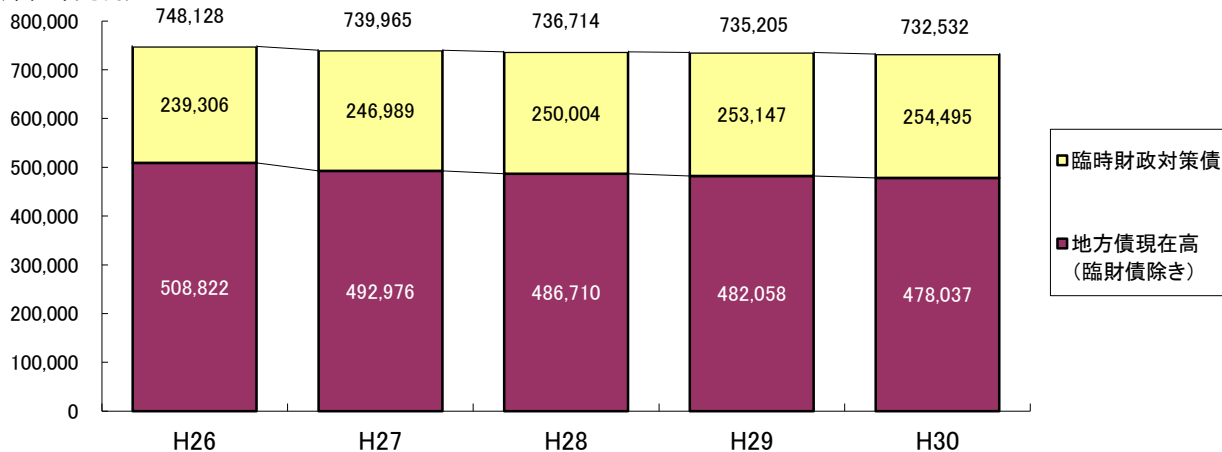
### <地方債発行額の推移>

（単位：百万円）



### <地方債現在高の推移>

（単位：百万円）



## Ⅶ 財政指標等の状況

### 経常収支比率

経常収支比率は、市町村平均92.7%（0.7ポイント上昇）、市平均94.1%（0.5ポイント上昇）、町村平均89.5%（1.0ポイント上昇）であり、いずれも前年度数値と比べて上回った。

#### <経常収支比率の状況>

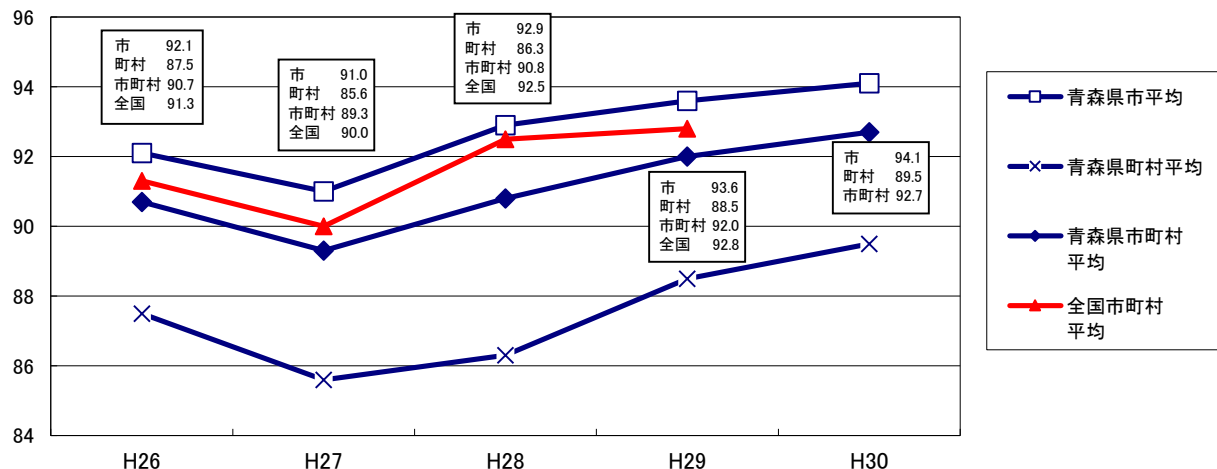
（単位：％）

| 区 分       | 平成30年度 | 平成29年度 | 対前年度増減 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 市 平 均     | 94.1   | 93.6   | 0.5    |
| 町 村 平 均   | 89.5   | 88.5   | 1.0    |
| 市 町 村 平 均 | 92.7   | 92.0   | 0.7    |

※平均は加重平均。

#### <経常収支比率の推移>

（単位：％）



※「全国市町村平均」は総務省「地方財政白書」より

#### <経常収支比率の段階別団体数の状況>

| 区 分    | 80%未満 | 80%以上<br>90%未満 | 90%以上<br>100%未満 | 100%以上 | 合計 |
|--------|-------|----------------|-----------------|--------|----|
| 平成29年度 | 4     | 12             | 23              | 1      | 40 |
| 平成30年度 | 2     | 14             | 24              | 0      | 40 |

# 健全化判断比率

○ 県内40市町村で健全化判断比率が早期健全化基準以上となる団体は、前年度及び今年度ともに、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率とも該当なし（財政再生基準以上も該当なし。）

## ① 実質赤字比率

実質収支が赤字の団体はなし（29年度決算：なし）

## ② 連結実質赤字比率

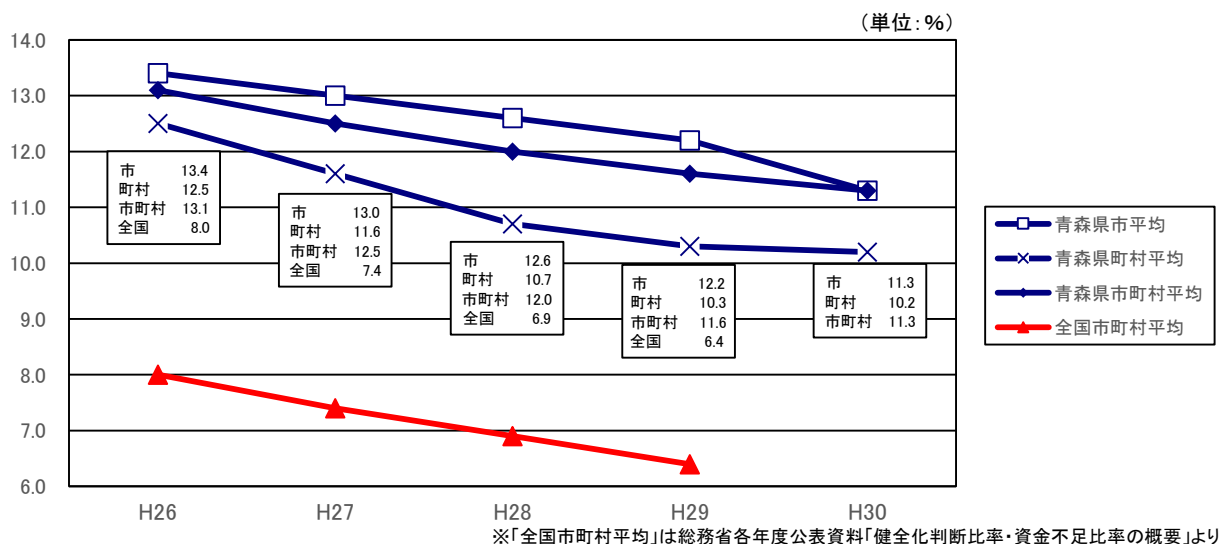
連結実質収支が赤字の団体はなし（29年度決算：なし）

## ③ 実質公債費比率

前年度に引き続きすべての団体が早期健全化基準（25.0%）未満となっており、県内市町村全体の実質公債費比率は、11.3%（前年度11.6%）となっている。

なお、18%以上の団体は、地方債の発行に当たって許可が必要となるが、本県では、2団体（前年度3団体）が18%以上となっている。

### <実質公債費比率の推移>



## ④ 将来負担比率

前年度に引き続きすべての団体が早期健全化基準（350.0%）未満となっており、県内市町村全体の将来負担比率は68.2%（前年度73.5%）となっている。

### <将来負担比率の推移>

